

# 活動レポート

## 長穂青年部

今回は、20~30代の若者が集まって、地元の活性化に取り組んでいる「長穂青年部」を紹介します！

### 1 「長穂青年部＝泥んこ祭り」というぐらい、有名になってきましたね。

昨年で4回目となりましたが、年々、市内外から参加者が増え、人気が出てきています。年齢層は高校生から60代の人までと幅が広く、泥んこ競技を楽しんでもらうだけでなく、開催目的である「多くの人に長穂に来てもらい、知ってもらう」ためのいいイベントになっていると感じています。

### 泥んこ祭り in 長穂



### 2 準備が大変そうですね。

休耕田を活用していますが、実は、何度も鋤(す)いたり、雑草を取ったりと耕作田並みの整備が必要です。畦(あぜ)も通常の田んぼであれば2~3人が通れる幅があれば十分ですが、泥んこまつりの時には10数人が通るので、畦幅を広げる作業が要ります。

準備は基本的には自分達で行っていますが、難しいところは地域の方の力を借りながら行っています。

### 3 地域の方が協力してくださっているんですね。

青年部の活動として、新年会やほたる祭り、運動会、産業文化祭といったほぼ全ての地域行事に参加しています。また、国道沿いのゴミ拾いや、公民館をはじめとする地区内の公共施設の清掃を定期的に行っています。

それによって青年部の顔を知っていただき、地域の方と交流ができているおかげで、協力してくださっているのではないかと思います。

### 4 今では活発に活動されていますが、そもそも活動を始めたきっかけは？

もともと地域行事を手伝っていた若い人達が、産業文化祭で賑やかに出店しようと集まり、グループ名が必要になったので設立したのがきっかけです。

「地域おこしのために！」とカんで結成したわけではなく(笑)、地域のために何か手伝えることはないかなと思い、地域行事の手伝いから始め、徐々に自主事業を実施しているところです。

### 5 長穂を始め、和田、戸田、湯野では若者グループの活動が盛んです。どうしたらこのような活動が広がっていくと思いますか？

やろうと思う人がいるかどうかだと思います。強力なリーダーシップは必要なく、「ちょっと先頭に立ってやってみようかな」と思う人と、その人に協力する1、2人がいれば始められるものです。

また、地域に踏み込んでいくことができるかどうかも大事です。幼い頃には誰もが地域行事に参加し、自分が覚えていなくても地域の方は「あそこの〇〇ちゃんね」と覚えていてくれます。そういった意味で、地域は何かをやるには無条件で力になってくれる、ベストな場所です。実施しやすい土壌ができているところで、あとはどう中に入っていくか、その工夫と「地域の人と積極的に交わろう」という気持ちは欠かせません。

### ほたる祭りにてボランティア



### 6 今後の課題や、やってみたいことは？

メンバーは皆仲が良く、結束力が強いのですが、その分注意しておかないと内向きでなানাな組織になりがちです。随時、運営方法を見直したり、メンバーひとりひとりが自分の考えで動ける人になるような人づくりをしなければならないと考えています。

そして、他地区の地域おこしグループや異業種の人達とももっと横のつながりを強め、人脈づくりや地域外からの刺激を絶えず取り入れるようにしていきたいです。

活動としては、まだ参加したことがない、地域の福祉活動に協力できたらと思っています。

### 7 みなさんへメッセージを！

青年部の役割の1つは、対外的なイベントを考え、多くの人に長穂に来てもらうきっかけを作ることだと考えています。イベントで長穂に来て楽しんでもらい、「いいところだな」、「住んでみたいところだな」と思ってもらえたら嬉しいです。

◆長穂青年部◆

TEL 0834-88-0401(長穂公民館内)

ブログ <http://nagaoseinenbu.blog110.fc2.com/>